



2022年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月2日

上場会社名 株式会社キングジム 上場取引所 東
 コード番号 7962 URL <https://www.kingjim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 原田 伸一 (TEL) 03-3864-5883
 四半期報告書提出予定日 2022年2月2日 配当支払開始予定日 2022年3月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年6月期第2四半期の連結業績(2021年6月21日～2021年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第2四半期	16,302	△1.7	483	△44.1	626	△39.4	368	△46.6
2021年6月期第2四半期	16,582	8.4	864	700.3	1,033	303.7	691	331.1

(注) 包括利益 2022年6月期第2四半期 234百万円(△73.9%) 2021年6月期第2四半期 898百万円(172.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第2四半期	12.95	12.90
2021年6月期第2四半期	24.30	24.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年6月期第2四半期	33,993	23,806	69.8	831.91
2021年6月期	30,565	24,118	78.6	843.66

(参考) 自己資本 2022年6月期第2四半期 23,711百万円 2021年6月期 24,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期	—	7.00	—	20.00	27.00
2022年6月期	—	7.00			
2022年6月期(予想)			—	15.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年6月21日～2022年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	4.6	1,700	△29.7	1,900	△31.0	1,300	△33.8	45.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年6月期2Q	31,459,692株	2021年6月期	31,459,692株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2022年6月期2Q	2,957,622株	2021年6月期	2,985,190株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2022年6月期2Q	28,480,380株	2021年6月期2Q	28,441,234株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、緊急事態宣言の解除を受けて、新型コロナウイルス感染症による国内外の経済活動縮小から緩やかな回復の動きを見せつつありますが、半導体の供給不足や原油価格の高騰により、依然先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は継続した感染予防策をとることでお客様や従業員の安全を図りつつ、第10次中期経営計画（2022年6月期から2024年6月期）の目標達成に向けた取り組みを実行してまいります。「テプラ」やステーションナリーといった基盤事業のさらなる強化を図りつつ、インテリアライフスタイル事業や衛生・健康用品の拡販、M&Aによる事業領域拡大といった成長分野に注力しております。当第2四半期連結累計期間において、インテリアライフスタイル事業の飛躍的な拡大を実現すべく、ライフオンプロダクツ(株)を子会社化いたしました。同社は、生活家電や雑貨、ルームフレグランス等の各種商品の企画・販売等を行っております。同社と商品調達・品質管理を共同で行うことによる効率化に加え、グループ内の海外を含む販路を相互に活用した売り上げ拡大を図ってまいります。また、当社グループでは、コーポレートメッセージ「おどろき、快適、仕事と暮らし」を策定いたしました。これまで事業の中心としていたビジネスシーンに加え、暮らしにおいても、おどろきと快適さを提供してまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は163億206万円（前年同期比1.7%減）となりました。利益面では、主に売上原価率の上昇により、営業利益は4億8,379万円（前年同期比44.1%減）、経常利益は6億2,666万円（前年同期比39.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億6,895万円（前年同期比46.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 文具事務用品事業

基盤事業のさらなる強化として、「テプラ」におきましては、最上位モデルとなる「SR-R980」を発売いたしました。配線機器の管理表示用ラベルに特化した「ケーブルフォーム」機能を搭載し、ラベリング需要の掘り起こしを図りました。また、ステーションナリーにおきましては、表紙に差し込むだけで複数のクリアーホルダーをまとめて収納・閲覧できる「ホルサック クリアーホルダーファイル」などを発売し、機能性を追求した新製品の発売により、需要の拡大を図りました。さらに、原材料や物流費の高騰が続いている中、12月より一部の商品の価格改定を実施することとし、収益の確保に努めております。

成長分野への注力として、雑貨・家庭用品や新しい働き方・暮らし方に向けた新製品の投入や、販促に軸足を置いております。主に女性をターゲットとした女子文具のブランド「HITOTOKI（ヒトトキ）」シリーズとして、「HITOTOKI NOTE」や透明フィルム素材のマスキングテープ「SODA」の第2弾を発売いたしました。これらの製品は、大手販売店様で先行発売していただくことで多くの女性にPRし、認知拡大に取り組んでまいりました。また、衛生・健康用品では、人が集まるところの感染症予防として、室内のCO₂濃度を表示できる「卓上CO₂モニター」を発売いたしました。また、販売好調な手指消毒器（アルコールディスペンサー）「テッテ」において、テレビCMを放映し認知度の向上を図り、さらなる販売拡大に努めております。ウイセンス(株)では、半導体工場を始めエレクトロニクス業界向け手袋の需要が引き続き好調でした。

この結果、新製品や「テッテ」などの衛生・健康用品が好調に推移いたしました。主力商品の販売減により、売上高は121億5,144万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は1億297万円（前年同期比75.7%減）となりました。

② インテリアライフスタイル事業

(株)ぼん家具では、ロックダウンによる東南アジア工場の操業停止の影響を受け、品切れ対応に苦慮しましたが、主力の収納用品のラインアップを拡大し、楽天市場等のECモールを中心に拡販してまいりました。(株)ラドンナでは、主力商品のキッチン家電において、定番品に加え、新商品「ハーフホットサンドメーカー」のヒットが売上に貢献しました。販路面では新規に開拓したECサイトが順調に売上を伸ばしており、販路として着実に成長しています。フォトフレームでは、カメラ系販売店での採用品番が増え、安定した売上を確保しています。また、Toffyブランドの認知向上に伴い、大手飲料メーカーの景品に採用されるなど、広報活動の効果も出ています。(株)アスカ商會では、オフィス装飾需要に対応したグリーン・観葉商品が引き続き好調です。イベント関連は依然厳しいものの、

ブライダル関連の需要が徐々に回復しており、それに伴い花類が復調しつつあります。エンドユーザー向けのSOMUブランドやドライフラワーも着実に成長しており、売上に貢献しております。

㈱ラドンナや㈱アスカ商会は主力商品を中心に売り上げを伸ばし、増収増益となったものの、㈱ぼん家具は前年の巣ごもり需要からの反動もあり、減収減益となりました。この結果、売上高は 41億5,062万円（前年同期比 1.2%減）、営業利益は3億7,932万円（前年同期比 11.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して、34億2,801万円増加し、339億9,325万円となりました。これは主に、投資有価証券が株価低迷のため2億8,040万円減少した一方、商品及び製品が17億2,605万円、ライフオンプロダクツ㈱の株式取得によりのれんが13億1,175万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して、37億3,926万円増加し、101億8,632万円となりました。これは主に、ライフオンプロダクツ㈱の株式取得のためのつなぎ資金、及び、運転資金需要等として短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して、3億1,125万円減少し、238億692万円となりました。これは主に、利益剰余金が第73期期末配当金の支払いにより5億6,949万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益3億6,895万円の計上による増加、株価の下落によりその他有価証券評価差額金が1億9,286万円減少したことによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較し、現金及び現金同等物が8億9,137万円減少し、61億4,154万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、14億1,461万円（前年同期は4億8,943万円の資金獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6億2,534万円や減価償却費2億9,464万円等があった一方、棚卸資産の増加額10億3,791万円や法人税等の支払額6億5,906万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ30億8,561万円増加し、33億5,596万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入1億9,080万円があった一方、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出27億9,256万円や有形及び無形固定資産の取得による支出4億4,081万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ37億3,149万円増加し、38億2,703万円となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出5億6,776万円があった一方、短期借入金の純増額44億1,000万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月27日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,439,265	6,670,228
受取手形及び売掛金	4,722,763	5,448,877
商品及び製品	6,760,784	8,486,835
仕掛品	383,624	449,421
原材料及び貯蔵品	1,333,463	1,547,162
その他	589,869	718,831
貸倒引当金	△6,817	△3,058
流動資産合計	21,222,954	23,318,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,972,522	6,053,291
減価償却累計額	△3,731,364	△3,819,095
建物及び構築物（純額）	2,241,158	2,234,196
機械装置及び運搬具	2,832,925	2,899,113
減価償却累計額	△2,556,689	△2,639,009
機械装置及び運搬具（純額）	276,236	260,103
土地	1,588,784	1,588,784
建設仮勘定	77,347	99,648
その他	3,152,840	3,093,803
減価償却累計額	△2,884,376	△2,806,861
その他（純額）	268,463	286,941
有形固定資産合計	4,451,990	4,469,675
無形固定資産		
のれん	—	1,311,754
その他	520,801	673,843
無形固定資産合計	520,801	1,985,597
投資その他の資産		
投資有価証券	2,441,771	2,161,368
退職給付に係る資産	1,331,727	1,395,570
繰延税金資産	209,795	257,465
その他	401,071	419,684
貸倒引当金	△14,872	△14,408
投資その他の資産合計	4,369,493	4,219,680
固定資産合計	9,342,285	10,674,953
資産合計	30,565,239	33,993,251

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,159,803	1,891,333
短期借入金	40,000	4,450,000
1年内返済予定の長期借入金	26,361	21,489
未払法人税等	678,217	400,902
未払金	921,562	742,443
役員賞与引当金	17,743	12,604
その他	1,013,850	992,009
流動負債合計	4,857,537	8,510,781
固定負債		
長期借入金	117,680	207,762
繰延税金負債	656,035	594,839
退職給付に係る負債	488,341	520,987
資産除去債務	24,251	30,944
その他	303,208	321,005
固定負債合計	1,589,517	1,675,539
負債合計	6,447,055	10,186,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	1,717,573	1,717,573
利益剰余金	22,468,110	22,267,108
自己株式	△2,638,851	△2,614,508
株主資本合計	23,525,522	23,348,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	732,394	539,531
繰延ヘッジ損益	912	△932
為替換算調整勘定	△376,878	△304,136
退職給付に係る調整累計額	140,925	127,752
その他の包括利益累計額合計	497,353	362,216
新株予約権	87,088	87,088
非支配株主持分	8,219	8,761
純資産合計	24,118,184	23,806,929
負債純資産合計	30,565,239	33,993,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年6月21日 至2020年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年6月21日 至2021年12月20日)
売上高	16,582,742	16,302,069
売上原価	9,970,853	10,041,152
売上総利益	6,611,888	6,260,917
販売費及び一般管理費	5,747,074	5,777,121
営業利益	864,814	483,796
営業外収益		
受取利息	5,617	5,714
受取配当金	50,956	54,600
受取賃貸料	76,741	75,306
その他	83,493	37,046
営業外収益合計	216,809	172,668
営業外費用		
支払利息	3,331	4,083
為替差損	20,341	1,802
賃貸収入原価	23,184	22,849
その他	1,331	1,067
営業外費用合計	48,189	29,802
経常利益	1,033,434	626,663
特別利益		
固定資産売却益	—	9
投資有価証券売却益	—	911
特別利益合計	—	920
特別損失		
固定資産除却損	3,133	1,764
投資有価証券評価損	—	478
特別退職金	14,048	—
特別損失合計	17,182	2,243
税金等調整前四半期純利益	1,016,252	625,340
法人税、住民税及び事業税	345,989	199,271
法人税等調整額	△22,012	45,226
過年度法人税等	—	11,342
法人税等合計	323,977	255,840
四半期純利益	692,275	369,499
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,069	541
親会社株主に帰属する四半期純利益	691,206	368,957

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年6月21日 至2020年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年6月21日 至2021年12月20日)
四半期純利益	692,275	369,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	181,488	△192,862
繰延ヘッジ損益	△200	△1,844
為替換算調整勘定	△10,099	72,742
退職給付に係る調整額	34,797	△13,172
その他の包括利益合計	205,986	△135,137
四半期包括利益	898,261	234,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	897,192	233,820
非支配株主に係る四半期包括利益	1,069	541

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月21日 至 2020年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月21日 至 2021年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,016,252	625,340
減価償却費	287,040	294,649
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14,359	△5,086
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	32,903	15,914
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	25,517	△80,973
受取利息及び受取配当金	△56,574	△60,315
支払利息	3,331	4,083
為替差損益 (△は益)	10,833	△4,842
固定資産除売却損益 (△は益)	3,133	1,755
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△911
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	478
特別退職金	14,048	—
売上債権の増減額 (△は増加)	158,491	△33,259
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,213,822	△1,037,916
その他の資産の増減額 (△は増加)	35,690	86,621
仕入債務の増減額 (△は減少)	507,526	△284,619
未収消費税等の増減額 (△は増加)	5,869	△70,994
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△95,764	△245,170
その他の負債の増減額 (△は減少)	77,160	△20,648
その他	△36,886	5,331
小計	789,112	△810,563
利息及び配当金の受取額	56,566	60,315
利息の支払額	△2,988	△5,429
法人税等の支払額	△356,430	△659,067
法人税等の還付額	3,173	133
営業活動によるキャッシュ・フロー	489,433	△1,414,611
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△161,989	△440,817
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	9
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,792,566
敷金及び保証金の差入による支出	△1,649	△2,185
敷金及び保証金の回収による収入	6,382	3,335
定期預金の預入による支出	△313,386	△311,200
定期預金の払戻による収入	154,963	190,800
保険積立金の解約による収入	86,668	—
その他	△41,342	△3,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△270,352	△3,355,966
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000	4,410,000
長期借入金の返済による支出	△20,055	△14,790
配当金の支払額	△283,942	△567,769
その他	△459	△403
財務活動によるキャッシュ・フロー	95,542	3,827,037
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,076	52,164
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	302,548	△891,376
現金及び現金同等物の期首残高	5,410,662	7,032,921
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	314,121	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,027,332	6,141,545

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品または製品の国内販売において、出荷時から当該商品または製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は81百万円、販売費及び一般管理費は58百万円それぞれ減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ22百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)の仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年6月21日 至 2020年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,379,938	4,202,804	16,582,742	—	16,582,742
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44,495	81,530	126,025	△126,025	—
計	12,424,433	4,284,334	16,708,767	△126,025	16,582,742
セグメント利益	424,413	427,932	852,346	12,467	864,814

(注) 1. セグメント利益の調整額 12,467千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年6月21日 至 2021年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,151,445	4,150,624	16,302,069	—	16,302,069
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,579	120,952	166,532	△166,532	—
計	12,197,024	4,271,577	16,468,601	△166,532	16,302,069
セグメント利益	102,972	379,321	482,293	1,502	483,796

(注) 1. セグメント利益の調整額 1,502千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に變更しています。

当該変更により、従来の方針に比べて、当第2四半期連結累計期間の「文具事務用品事業」の売上高が27百万円減少、セグメント利益が22百万円減少し、「インテリアライフスタイル事業」の売上高が53百万円減少しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「インテリアライフスタイル事業」において、当社はライブオンプロダクツ株式会社の株式取得により、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において1,311,754千円であります。なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。